

令和2年度 決算事業別概要書

1	項目名	事務局庁舎空調設備等修繕		
年度	令和2年度	事業の概要	担当課 総務課	
会計名		<p>【問合せ先】0857-20-0119</p> <p>【事業概要】 事務局本庁舎は、本組合が平成7年に現建屋（昭和52年度竣工）を取得・改修し、事務局執務室等として活用するとともに、平成11年には、共同処理事務の増加に伴い利便性の向上等を図るため、事務局分庁舎を竣工し現在に至っている。 近年、本庁舎、分庁舎ともに建物・設備の老朽化が進んでいることから、事務局庁舎の適正な維持管理のために必要な修繕を行う。</p> <p>【事業の成果】 ○事務局本庁舎（2階・3階）の空調設備修繕 〈6,600千円〉</p> <p>【今後の課題・方向性】 施設の維持管理をより効率的・効果的に進めるため、引き続き必要な修繕を行い、事務局庁舎の予防保全に努めていく。 ○令和3年度 本庁舎（1階）・分庁舎空調設備修繕費 〈12,881千円〉 ○令和4年度 本庁舎外壁、分庁舎外壁・屋上防水修繕費 〈13,981千円〉</p>		
一般会計				
款	総務費			
項	総務管理費			
目	一般管理費			
(単位：千円)				
当初予算額	13,835			
補正予算額	△7,235			
最終予算額	6,600			
本年度決算額	6,600			
区 分	金 額	<p>【今後の課題・方向性】 施設の維持管理をより効率的・効果的に進めるため、引き続き必要な修繕を行い、事務局庁舎の予防保全に努めていく。 ○令和3年度 本庁舎（1階）・分庁舎空調設備修繕費 〈12,881千円〉 ○令和4年度 本庁舎外壁、分庁舎外壁・屋上防水修繕費 〈13,981千円〉</p>		
財 源 内 訳	国庫支出金			0
	県支出金			0
	地方債			4,900
	その他			0
	市町負担金			1,700
計		6,600		
(参考)		<p>評価結果 事務局庁舎の長寿命化の点からも、効果的な修繕整備が図れた。引き続き年次計画的な修繕整備を進めたい。</p>		
前年度決算額	0			

2	項目名	廃棄物処理施設 インフラ長寿命化計画策定業務
---	-----	------------------------

年度	令和2年度
----	-------

会計名	
-----	--

一般会計	
------	--

款	衛生費
---	-----

項	①不燃物処理費
	②し尿処理費

目	①環境クリーンセンター管理費
	②施設管理費

(単位：千円)

当初予算額	14,211
-------	--------

補正予算額	0
-------	---

最終予算額	14,211
-------	--------

本年度決算額	14,153
--------	--------

区分	金額
----	----

財 源 内 訳	国庫支出金	0
------------------	-------	---

財 源 内 訳	県支出金	0
------------------	------	---

財 源 内 訳	地方債	0
------------------	-----	---

財 源 内 訳	その他	0
------------------	-----	---

財 源 内 訳	市町負担金	14,153
------------------	-------	--------

計		14,153
---	--	--------

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

事業の概要	担当課	福祉環境課
-------	-----	-------

【問合せ先】 環境管理係 0857-26-0532

【事業概要】
 国の「インフラ長寿命化基本計画」に基づき各省庁が策定した「インフラ長寿命化計画（行動計画）」を踏まえ、市町村及び一部事務組合は、令和2年度までの「インフラ長寿命化計画（個別施設計画）」の策定を求められている。
 なお、環境省は廃棄物処理施設（最終処分場を除く）を策定の対象と位置付けており、長期的視点での適正な施設管理を図るうえからも当該施設に係る長寿命化計画を策定する。

【事業の成果】
 ①環境クリーンセンターインフラ長寿命化計画策定業務（精密機能検査業務含む） 〈 7,993千円 〉
 ②因幡浄苑インフラ長寿命化計画策定業務 〈 6,160千円 〉

【今後の課題・方向性】
 計画に基づき関連設備の定期的な修繕を実施し、施設の適正な維持管理に努める。

評価結果	策定した計画をもとに、今後も施設の長寿命化に向けて適正な維持管理に努める。
------	---------------------------------------

3	項目名	因幡浄苑 凝集膜分離装置等修繕
---	-----	-----------------

年度	令和2年度
----	-------

会計名	
-----	--

一般会計	
------	--

款	衛生費
---	-----

項	し尿処理費
---	-------

目	施設管理費
---	-------

(単位：千円)

当初予算額	97,223
-------	--------

補正予算額	△ 9,878
-------	---------

最終予算額	87,345
-------	--------

本年度決算額	82,744
--------	--------

区分		金額
財源内訳	国庫支出金	0
	県支出金	0
	地方債	62,000
	その他	0
	市町負担金	20,744
計		82,744

(参考)

前年度決算額	80,300
--------	--------

事業の概要	担当課	福祉環境課
-------	-----	-------

【問合せ先】 環境管理係 0857-26-0532

【事業概要】

因幡浄苑での処理工程において基幹設備である凝集膜分離装置は、経年劣化等に伴い、集水軸及び膜の損傷が著しいことから、処理水に影響が生じないようにこれらの取替修繕を行う。

また、併せて、施設処理水槽のうちアンモニア（窒素）の影響によりとりわけ腐食の進行が激しい、し尿投入槽及びし尿貯留槽の防食塗装修繕を行い、施設の適正な運転管理を図る。

【事業の成果】

- 凝集膜分離装置修繕費 1台 < 40,700千円 >
- し尿投入槽及びし尿貯留槽防食塗装修繕費 < 42,044千円 >

【今後の課題・方向性】

施設の長寿命化の点からも、引き続き性能確保と適正な運転管理に努める。

評価結果

し尿等を適正処理するために必要な性能の確保を図ることができた。

4	項目名	可燃物処理施設建設事業
---	-----	-------------

年度	令和2年度
----	-------

会計名	
-----	--

一般会計	
------	--

款	衛生費
---	-----

項	可燃物処理費
---	--------

目	ごみ処理施設建設費
---	-----------

(単位：千円)

当初予算額	5,825,359
補正予算額	△ 7,406
最終予算額	5,817,953

本年度決算額	5,816,680
--------	-----------

区 分		金 額
財 源 内 訳	国庫支出金	2,538,949
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	市町負担金	3,277,731
計		5,816,680

(参考)

前年度決算額	1,341,085
--------	-----------

事業の概要

担当課 施設建設課

【問合せ先】0857-26-0596

【事業概要】

可燃物処理施設建設工事は、令和元年8月に現地工事に着手し、令和4年7月末の完成を目指し工事を進めているところであり、令和2年度は、現地工事2年目となる。

【事業の成果】

- ①工事関係経費〈5,785,614千円〉
 - ・(債) プラント建設に係る設計・施工監理委託業務(平成30年度～令和4年度)
 - ・(債) 可燃物処理施設建設工事(平成30年度～令和4年度)
- ②その他経費〈31,066千円〉
 - ・環境影響評価事後調査業務
 - ・施設周辺管理業務 等

【今後の課題・方向性】

令和4年8月の本稼働を目指し施設整備を進めている。

評価
結果

喫緊の課題である可燃物処理施設建設事業については、現在順調に工事が進んでいる。今後も令和4年8月の本稼働に向け、着実に事業を推進する必要がある。

5	項目名	消防庁舎 新築事業
---	-----	-----------

年度	令和2年度
----	-------

会計名	
-----	--

一般会計	
------	--

款	消防費
---	-----

項	消防費
---	-----

目	消防施設費
---	-------

(単位：千円)

当初予算額	305,302
-------	---------

補正予算額	△ 22,212
-------	----------

最終予算額	283,090
-------	---------

本年度決算額	212,903
--------	---------

区分	金額	
財源内訳	国庫支出金	0
	県支出金	0
	地方債	147,200
	その他	0
	市町負担金	65,703
計	212,903	

(参考)

前年度決算額	304,985
--------	---------

事業の概要

担当課 消防総務課

【問合せ先】管理係 0857-23-2434

【事業概要】

消防庁舎の老朽化及び耐震強度不足を解消するため、本組合消防庁舎整備基本方針に基づき、年次的に庁舎の新築整備を行う。

【事業の成果】

- 1 八頭消防署整備事業費 35,189千円
 - ・八頭消防署（構造）RC造2階建（延面積）992.23㎡
 - ①委託業務費〈1,969千円〉地盤変動影響調査（事後調査）業務
 - ②工事費〈33,220千円〉外構工事、旧庁舎解体工事

- 2 八頭消防署智頭出張所（構造）RC造平屋建（延面積）約650㎡
 - ・智頭出張所整備事業費 139,109千円
 - ①委託業務費〈27,440千円〉実施設計、解体設計、（債）工事監理業務（令和2～3年度）
 - ②工事費〈111,669千円〉（債）新築工事（令和2～3年度）令和2年度は全体工事費の約4割

- 3 八頭消防署用瀬出張所
 - ・用瀬出張所整備事業費 38,605千円
 - ①委託業務費〈38,605千円〉設計（基本、実施）業務、地質調査業務、地盤変動影響調査業務

【今後の課題・方向性】

引き続き、消防庁舎整備基本方針に基づき、適正に新築整備を行う。

評価結果

地域の防災拠点としての役割を十分に果たすよう最新機能を備えた整備が図れた。

6	項目名	高規格救急自動車 更新整備
---	-----	---------------

年度	令和2年度
----	-------

会計名	
一般会計	
款	消防費
項	消防費
目	消防施設費

(単位：千円)

当初予算額	72,116
補正予算額	0
最終予算額	72,116

本年度決算額	66,176
--------	--------

区 分		金 額
財源内訳	国庫支出金	0
	県支出金	0
	地方債	49,300
	その他	176
	市町負担金	16,700
計		66,176

(参考)

前年度決算額	101,354
--------	---------

事業の概要	担当課	消防総務課
-------	-----	-------

【問合せ先】管理係 0857-23-2434	
【事業概要】 長期間使用により老朽化した車両を年次計画に基づき更新する。 令和2年度は、高規格救急自動車（2台）の更新整備を行い、迅速かつ的確な救急体制の更なる充実を図る。	
【事業の成果】	
・災害対応特殊高規格救急自動車〔鳥取消防署〕更新整備	33,088千円
・災害対応特殊高規格救急自動車〔東町出張所〕更新整備	33,088千円
【今後の課題・方向性】 引き続き、消防車両等更新計画に基づき、適正に更新整備を図る。	

評価結果	各種災害に適切に対処するため、最新機能を有した資機材等を搭載するなど、効果的な更新整備が図られた。
------	---------------------------------------------------

7	項目名	消防緊急通信指令システム機器適正化（更新）事業
---	-----	-------------------------

年度	令和2年度
----	-------

会計名	
-----	--

一般会計	
------	--

款	消防費
---	-----

項	消防費
---	-----

目	消防施設費
---	-------

(単位：千円)

当初予算額	76,780
-------	--------

補正予算額	0
-------	---

最終予算額	76,780
-------	--------

本年度決算額	76,450
--------	--------

区 分		金 額
財 源 内 訳	国庫支出金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	市町負担金	76,450
計		76,450

(参考)

前年度決算額	58,320
--------	--------

事業の概要	担当課	情報指令課
-------	-----	-------

【問合せ先】システム管理係 0857-29-6895

【事業概要】

消防緊急通信指令システムは、運用開始して6年が経過する中、令和元年度にはシステム基本OSのサポート終了に伴うセキュリティ対策として、一部機器の更新を行ったところである。

令和2年度は、システムの機器適正化に伴う中間更新対応として、令和3年度と併せ年次的に、耐用年数（5年）が経過している機器のうち、障害が生じた場合指令システムに重大な影響を及ぼす危険性がある機器、及び保守部品の調達が困難になる機器について、更新整備を行う。

【事業の成果】

- ・機器適正化（更新）事業費 76,450千円
- 令和2年度は、消防指令センターを中心に重要機器の更新を行った。

【今後の課題・方向性】

令和元年度から令和3年度にかけて段階的に更新事業を行っており、119番緊急通報をより安定して受信できるシステムの実現を目指し、本年度での完了に向けて事業を進めているところである。

評価結果	老朽化した重要機器の更新整備が図れた。
------	---------------------